

インターネットの社会動向

第1部 2024年の知っておくべきインターネット動向

2024年11月27日 IP Meeting 2024 ～つなげて、広げて、楽しもう～

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)

政策主幹 前村 昌紀



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2024 Japan Network Information Center

目次

インターネットガバナンス2024
NETmundial+10, GDC, WSIS+20

Internet Week 2024 セッションから

インターネット基盤運営における話題
RIR設立要件文書ICP-2 (Internet Coordination Policy -2) の改定作業



インターネットガバナンス2024



▶▶▶ NETmundial+10 <https://netmundial.br/>

2024年4月29日30日サンパウロで開催
CGI.br（ブラジルインターネット調整委員会）主催
2014年のNETmundial会合10周年検証
<https://netmundial.br/2014/>

事前・会期中のあらゆるステークホルダー
に対する意見聴取を元に成果文書を採択

“NETmundial+10マルチステークホルダー
声明”

[https://netmundial.br/netmundial-10-
multistakeholder-statement-strengthening-internet-
governance-and-digital-policy-processes](https://netmundial.br/netmundial-10-multistakeholder-statement-strengthening-internet-governance-and-digital-policy-processes)

前村がハイレベル実行委員会(HLEC)で文
書起草、会議運営に関与

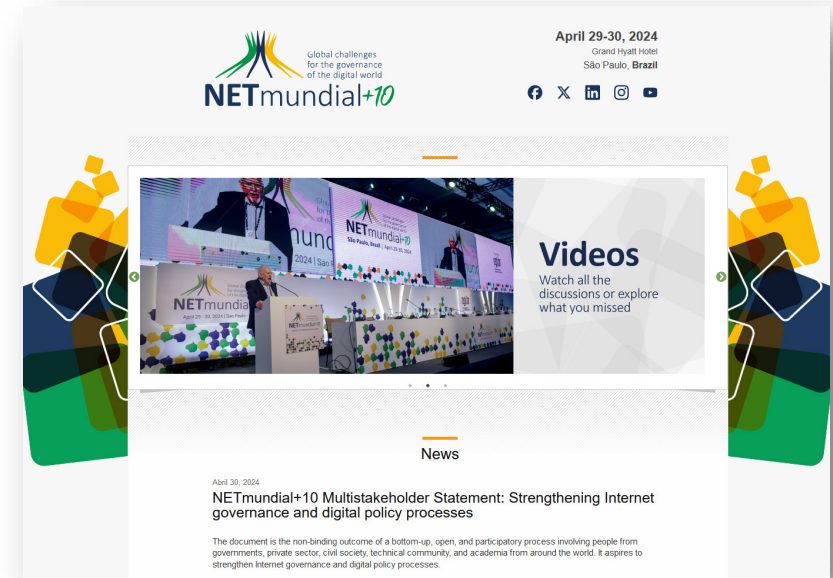


Photo courtesy: Pablo Hinojosa (APNIC)

▶▶▶ NETmundial+10マルチステークホルダー声明

<https://netmundial.br/netmundial-10-multistakeholder-statement-strengthening-internet-governance-and-digital-policy-processes>

前回以降10年間の変化を勘案して、2014年声明を検証

「インターネットガバナンス」を
「インターネットガバナンスとデジタル政策」で置き換え

2014年声明の有効性を確認した上で、詳細で具体的な
「サンパウロマルチステークホルダーガイドライン」を提示

13の具体的なガイドライン項目

12の具体的なプロセスステップ

IGF、GDC、WSIS+20レビューなどのプロセスに進言

JPNICからの情報発信

成果文書公開のアナウンス：

<https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2024/20240502-01.html>

和訳：<https://www.nic.ad.jp/ja/translation/governance/20240430.html>

▶▶▶ グローバルデジタルコンパクト(GDC)

https://www.unic.or.jp/files/Our_Common_Agenda_KEY-PROPOSALS-ACROSS-THE-12-COMMITMENTS_J_FINAL.pdf

JPNICブログで詳解しています

<https://blog.nic.ad.jp/2023/8457/> 2023/01/13

<https://blog.nic.ad.jp/2023/8888/> 2023/06/09

<https://blog.nic.ad.jp/2024/9586/> 2024/02/27

<https://blog.nic.ad.jp/2024/9731/> 2024/04/23

国連事務総長が2021年9月に発表した
「我々の共通課題 (Our Common Agenda)」の
12のコミットメントのうちの一つ

2024年9月21日・22日に開催される国連
「未来サミット」で検討される「未来への
協定 (Pact for the Future)」の一部として採択
4月の0版以降5回の改版を経て合意に至る



7. デジタル分野での 協力を改善する

- **グローバル・デジタル・コンパクト**により：
 - すべての学校を含め、すべての人々をインターネットにつなぐ
 - インターネットの断片化を回避する
 - データを保護する
 - オンラインで人権を適用する
 - 差別や誤解を招くコンテンツに対する説明責任基準を導入する
 - 人工知能(AI)の規制を強化する
 - グローバルな公共財としてのデジタルコモンズ

▶▶▶ 未来への協定とGDC

<https://documents.un.org/doc/undoc/ltd/n24/252/89/pdf/n2425289.pdf>

未来への協定(Pact for the Future)

5分野56項目に関するコミットメントを定めたもの

5分野：開発財務、国際平和、デジタル協力、次世代、統治機構改革

GDCは2つの付属書の1番目。もう1つは「次世代に関する宣言」

本文36ページ、GDC16ページ、次世代宣言4ページ

GDC

デジタル協力に関する以下の5つの目標を掲げたもの

デジタルデバイド解消とSDG推進

接続性、デジタルスキル、デジタル公共財

デジタル経済への包摂

デジタル空間への包摂

人権、インターネットガバナンス、トラストと安全性、情報真正性

データガバナンスの進展

データプライバシー、データ流通、SDGと開発のためのデータ、越境データフロー、相互運用性

国際的AIガバナンス

JPNICの見取り：<https://blog.nic.ad.jp/2024/10062/>

インターネットガバナンス部分：
グローバル、マルチステークホルダー、WSIS成果の
再確認、IGF支持が盛り込まれた。
「拡大協力」の言及もあり。

▶▶▶ WSIS+20（世界情報社会サミット20周年レビュー）

状況：

WSISチュニス会合が成果文書（チュニス・コミットメント、チュニス・アジェンダ）をまとめて閉会したのが2005年。10年ごとにレビューを行い、20周年レビューは2025年の国連総会（9月から11月）に向けて作業が進む

IGFの活動年限の延長、IGFリーダーシップパネル、デジタル協力フォーラムなどの新機構の展開などに注目が集まる

対応状況：

ICANNではGEチーム（政府・政府間機関エンゲージメント担当）が動向把握に努めるとともに、ICANNコミュニティのメンバー向けに連絡・議論用のメーリングリストを設置

<https://www.icann.org/en/government-engagement/wsis20-outreach-network>



Internet Week 2024のセッションから



▶▶▶ 05 作成者によるRPKI/DNSSEC/DMARCガイドライン要点解説

<https://internetweek.jp/2024/archives/program/o5>

技術的ですが。。

これらのセキュリティ対策を
いかにユーザに
受け入れて使っ
てもらおうかとい
うことに苦渋が
感じられる
セッション

05 作成者によるRPKI/DNSSEC/DMARCガイドライン要点解説

日時・会場

11/21(木)

10:00 ~ 12:00

@オンライン

講演者



櫻庭 秀次



小川 博久



木村 泰司

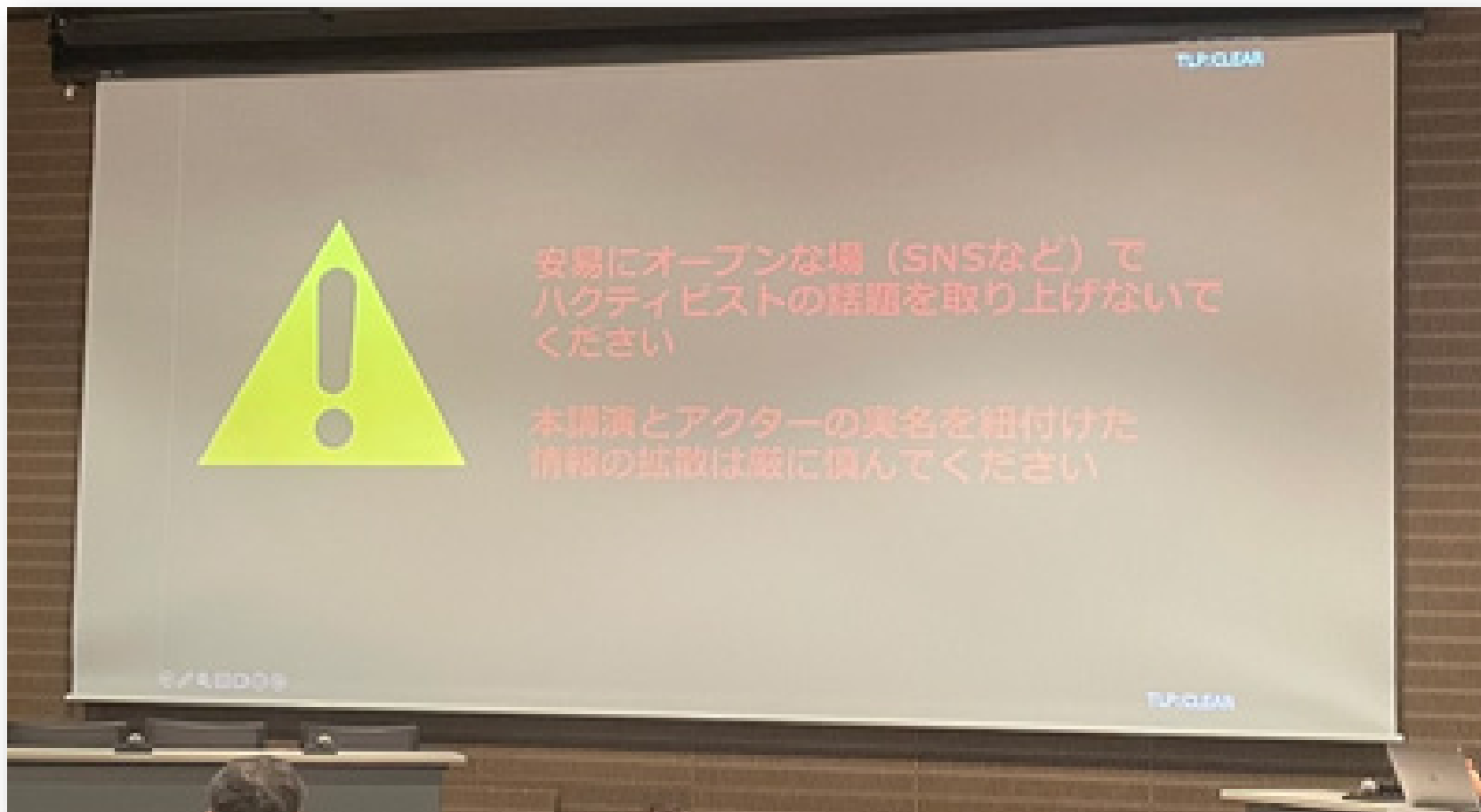


梅城 崇師

- 櫻庭 秀次((一社)メッセージング研究所 / JPAAWG)
- 小川 博久(株式会社三菱総合研究所)
- 其田 学(株式会社インターネットイニシアティブ/DNSOPS.JP)
- 木村 泰司(一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター)
- 梅城 崇師(総務省 サイバーセキュリティ統括官室 統括補佐)

▶▶▶ L1 ハクティビストによるDDoS攻撃の“ほんとのところ”～攻撃の舞台裏と
対策最前線～ <https://internetweek.jp/2024/archives/program/l1>

「安易にオープンな場（SNSなど）でハクティビストの話題を取り上げないでください」



▶▶▶ C10 Webの情報を信じるために～オリジネータープロフィールなど偽情報
検出の最前線～ <https://internetweek.jp/2024/archives/program/c10/>

Webの情報を 正しい/間違い と判断するのは半ば哲学的な問い
発信者の同定 + 発信者の宣誓内容公開 + 発信内容の真正性証明で
信頼確保に取り組む

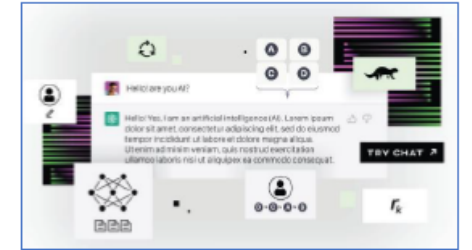
インターネット空間には、喫緊の課題が数多く存在します



情報の真偽



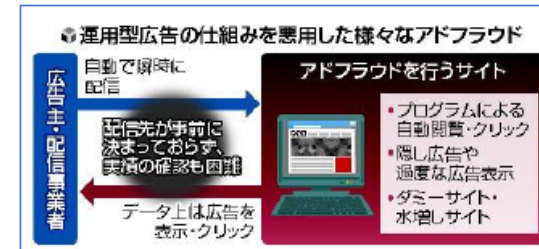
フィッシング詐欺、なりすまし



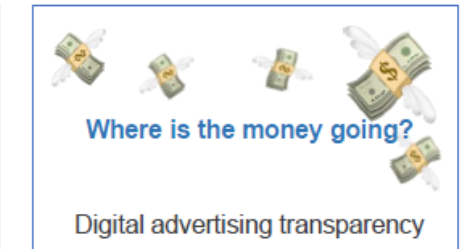
生成AIにより、真偽の見分けが
よりつかなくなる可能性



望まないサイトに
広告が掲載されてしまうリスク



広告の不正取引



多業者介入による
広告取引の不透明性

▶▶▶ D2 DNS DAY

<https://internetweek.jp/2024/archives/program/d2>

D2-1 DNS Update

D2-2 フルサービスリゾルバにおけるDNSブロッキング・フィルタリングの法的解釈と実施状況

D2-3 調整機関から見るドメイン空間で起きていることと対処について考える

D2-4 ドメイン名のライフサイクルマネジメント ～最近の事例とともに～

D2-5 ドメイン名の登録と維持管理のあり方について

D2-6 使後の世界 ～利用終了した独自ドメインのその後～

ドメイン名登録とその不正利用対策に大半の時間が費やされる

▶▶▶ C11 最速低コストなテイクダウンリクエスト送受の最新動向

<https://internetweek.jp/2024/archives/program/c11>

「最速低コスト」を実現する不正利用申告プロトコルに関して、日本ではあまり利用が進んでいないところ、不正利用ケース処理の最右翼、JC3からの発表を交えて「どれくらい使えるのか」を検証



▶▶▶ C12 今さら聞けないサイバー関連海外法制

<https://internetweek.jp/2024/archives/program/c12>

デジタル空間に対する法制：国民に対する悪影響を抑制排除するべく、各国の方針に従って作られている

この法律や規則、どういう内容か知っていますか？



EU: General Data Protection Regulation (GDPR)
EU: 一般データ保護規則

米国: カリフォルニア州消費者プライバシー法

中国: 個人情報保護法



EU: Network and Information Security Directive 2 (NIS2)
NIS2指令

US: Cyber Incident Reporting For Critical Infrastructure Act of 2022

米国: サイバーインシデント報告法

中国: ネットワークセキュリティ法



EU: Cyber Resilience Act
サイバーレジリエンス法

UK: Product Security and Telecommunication Infrastructure Act (PSTI)
英国: PSTI法

US: Executive Order on Improving the Nation's Cybersecurity

米国: 大統領令14028



EU: AI Act
AI法

中国: インターネット情報サービス深度合成アルゴリズム管理規定

▶▶▶ C13 スナックまさこ4.0 Mortal Combat (死闘) ～分断する未来を回避せよ～ <https://internetweek.jp/2024/archives/program/c13>

講演者



穴戸 常寿



林 秀弥



別所 直哉



森 亮二



山本 龍彦



若江 雅子



黒服のタケ

- 穴戸 常寿(東京大学大学院法学政治学研究科 教授)
- 林 秀弥(名古屋大学大学院法学研究科 総合法政専攻 現代法システム論 教授)
- 別所 直哉(一般社団法人日本IT団体連盟 常務理事)
- 森 亮二(英知法律事務所 弁護士)
- 山本 龍彦(慶應義塾大学法科大学院法務研究科 教授)
- 若江 雅子(読売新聞東京本社 編集委員)
- 黒服のタケ(スナックまさこ)

概要

日本のプラットフォーム問題の第一人者をお客様としてお迎えし、本音トークを繰り広げる「スナックまさこ」も、開店4年目を迎えることができました。当店は、デジタル分野のルールメイクに第一線で携わっている常連客が、「法律問題の表と裏」をママたちに分かりやすく教えてくれるお店です。

わかりやすい解説の合間には、スナックならではのちょっとした裏話もご提供し、法律や社会問題は苦手という理系の方にも、ご満足いただける内容となっています。今回は、続々と誕生するプラットフォーム規制に加えて、個人情報3年見直しを巡る白熱した対立がテーマです。そしてお客さまにお迎えするのは、高名な研究者、法律家、そして、霞ヶ関もプラットフォームも知り尽くした日本のロビイストの草分け的存在のあの方も。

デジタル分野のルールメイクはこれまでになく対立が目立ちます。繰り広げられる死闘の果てに、私たちはどこへ行くのでしょうか。スナックまさこの影の名付け親で、法哲学者の谷口功一・東京都立大学教授はこう指摘しています。

「イギリスのパブやオランダのコーヒーハウスでお酒やコーヒーを飲みながら議論することによって、ヨーロッパの市民社会は育ってきた。日本におけるスナックはまさこそういう場所」

さて、スナックまさこで、対話の糸口はみえるのでしょうか。



インターネット基盤運営における話題



▶▶▶ ICP-2(Internet Coordination Policy 2)の改定作業 <https://www.nro.net/policy/internet-coordination-policy-2/>

Criteria for Establishment of New Regional Internet Registries (新たな地域インターネットレジストリ設立の条件)

<https://www.icann.org/resources/pages/new-rirs-criteria-2012-02-25-en>

2001年に制定。LACNIC(2003)、AFRINIC(2005)設立の根拠となった。

域内ISPからの広い支持、統治機構、中立性、技術力など、RIRとして認知される条件を示すもの。

問題： 適性を欠く事態に陥ることを想定していない
AFRINICの機能不全に際し、問題が急浮上
2023年10月に改定作業開始、2025年中を目途に改定



まとめ



まとめ

インターネットガバナンス2024

政府・政府間機関のデジタルに対する関心の高まりから、活発な動きがありました。

特にAIやデジタルガバナンスなどに大きな関心が寄せられています

Internet Week 2024セッションから

「Webの情報を信じられるのか」「ドメイン名界隈では様々な問題」

「公共政策的な観点でもさまざまな取り組みが」

「プラットフォームとどのように向き合うのか」

インターネット基盤運営機構の課題にも取り組んでいます。

▶▶▶ ありがとうございました

インターネットの社会状況

第1部2024年の知っておくべきインターネット動向

2024年11月27日 IPミーティング2024～つなげて、広げて、楽しもう～

JPNIC 政策主幹 前村 昌紀